

第26回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会

2015年11月28日（土） 後楽園ホール

蹴武型&最優秀選手賞・新人賞 入賞者感想

1, 蹴武型 個人戦・男女混合

優勝 植田博和（東京江東テコンドークラブ） 3連覇

応援をいただいた皆様ありがとうございました。

今年は昨年以上にプレッシャーを感じましたが応援がとても力になり、良い結果を残すことができました。

側で支えてくれた少年部の成長も感じる事ができ、とても良い大会だったと感じています。

今回の結果に満足せず、誰もが認める・誰もが目標にするチャンピオンになれるよう精進したいと思います。

準優勝 渡邊智也（岡山大学体育会テコンドー部）

自身3回目の出場で、今回初めての型でのエントリーでした。リングでの型は組手の時とは違った眺めでした。この結果も嬉しいのですが、それよりも決勝の前に多くの人から頑張ってねと声をかけてくれたのがなにより心に残っています。

これから、就活も始まり学業である研究も大詰めなので、なかなかテコンドーを続けるのも難しいのですが、時間を作り練習したいと思います。

最後に、対戦していただいたみなさん、ありがとうございました。

3位 高橋祐輔（高知テコンドークラブ）

型で全日本大会に出場するようになってから、聖徳までやり切りたいと思っていました。

子ども(3人)を授かる毎に練習量が減り、結果も出せず、苦悩もしましたが、

最後までまずの形で終わったのは、色んな意味で皆さんのおかげだと思います。

ありがとうございました。

2、蹴武型 団体戦

優勝 岡山大学体育会テコンドー部

渡邊智也、

自身3回目の出場で、今回初めての型でのエントリーでした。リングでの型は組手の時とは違った眺めでした。この結果も嬉しいのですが、それよりも決勝の前に多くの人から頑張ってねと声をかけてくれたのがなにより心に残っています。

これから、就活も始まり学業である研究も大詰めなので、なかなかテコンドーを続けるのも難しいのですが、時間を作り練習したいと思います。

最後に、対戦していただいたみなさん、ありがとうございました。

喜安なるみ、

最高のメンバーと臨めて、試合内容もとても良いものとなりました。

優勝することができたのも、尊敬する先輩が引っ張ってくださり、後輩が先輩に食らいつくように懸命に練習を重ねてくれたおかげです。

最後にこのメンバーで最高の思い出を残すことができ、とても幸せです。

ありがとうございました！

谷本翔平

準優勝 岡山大学体育会テコンドー部女子部

田中柚香、

奥河明子、

全日本という大きな舞台を前にして、気負うのではなく、とにかく楽しもうという気持ちで臨みました。個々の型はまだまだ未熟でしたが、自分たちの良さを活かし、頑張りました。この3人だから、そして、たくさんの先輩・後輩・同期が応援してくれたから、得られた結果だと思います。ありがとうございました。

山田真央

3、蹴武型 少年少女部

優勝 森 慎治 (福岡筑紫野テコンドークラブ)

3回目の出場でしたが、今年は優勝できたので嬉しいです。

準優勝 神谷優希 (愛知大府テコンドークラブ)

今回優勝できなかったのは残念ですが、全日本で入賞できたのはとても嬉しかったです。これも先生方の指導、応援してくださった皆さんのおかげだと思います。ありがとうございました。もっと完成度を高め来年も出場し優勝できるよう頑張ります。

4，最優秀選手賞

鈴木雅博（湘南平塚テコンドークラブ）

今回は周囲からの期待値が非常に高かったのと、テコンドーに集中する為に12月のプロの試合のオファーを断ってしまったので、負けたら全てを失う。そんな重圧のかかった試合でした。

しかし退路を断たれた事が好転し、がむしゃらに前へ進みなんとか優勝する事が出来ました。今回の勝利は、僕に期待をしてサポートしてくれた生徒や後輩等、多くの人の支えがあって掴めたものだと思います。

そして、僕が前チャンプの倉田さんに勝った事によって、身体が小さくても無差別級で勝てるという事が証明できました。

これは全ての選手に希望を与えられた結果だと思います。

JTAの力を底上げする為に、これからもみんなで切磋琢磨していきましょう！

5，新人賞

注 小学生・中学生・高校生は、学年進級の都度、種目が変わるため3回出場迄、新人賞対象とする

森 慎治（福岡筑紫野テコンドークラブ）

全国大会では、初めて組手の試合に出て緊張しましたが、優勝する事ができて嬉しいです。今まで応援して下さいました皆様に感謝しています。

3回目の出場でしたが、今年は優勝できたので嬉しいです。